

ジェイアールバス東北本部

第32号

2022年3月15日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申8号「2022年度賃金引上げ等に関する申し入れ」

【ジェイアールバス東北本部の主張！】

- ・コロナ感染が収束しない状況においても黒字化に向けた様々な施策に向き合い、**コロナ禍においても収益を確保し、経営を支えているのは組合員・社員である。**
- ・21春闘、期末手当において示された回答は、コロナ禍で働く組合員・社員の労働実感・生活実感に踏まえた現実とはかけ離れている。**職場の努力に報いているとは到底言えない。**
- ・ここ数年ベアもなく、**物価上昇と年収減により将来に対する不安の声**が多い。
- ・会社で働く社員は、労働力の確保という意味でもバス東北会社が企業運営していく上で最も重要な経営資源である。**社員は企業活動に必要な不可欠な最重要資源であることから社員を大切にすることが会社経営の大原則**である。
- ・労働条件の最たる賃金が将来的にも減額された状態となっており、**組合員・社員のモチベーションが低下している現実を重く受け止めるべき**である。
- ・これ以上の退職者が出れば、残された社員の休日出勤が更に増えて体力的にも負担が増すばかりであり、更なる人材流出へと繋がる。**しっかりと社員の生活実態を見て判断するべき**である。
- ・人材の確保・定着と、技術継承・人材育成を労使の共通認識とすることを前提に、今こそ職場の現実と声をもとにした要求に対し、組合員・社員を第一とした経営姿勢で**要求満額での回答を強く求める。**

について趣旨説明を行う!!



【会社の主張】

- ・ベースアップと定期昇給については長期的なものであり、いわゆる人件費というのは大きな影響を及ぼすものになる。足元をしっかりと見ながら判断せざるを得ない
- ・上期で5億3千万、下期と合わせると7億超の赤字となる。ここにきてオミクロン株拡大の影響で2月に輸送量が落ち込んでしまった。
- ・これだけ不安定で先行きが見通せない状況下において、中長期的に見ての判断となる。
- ・採用の観点から言えば賃金の魅力は間違いなくあるとは思っている。
- ・これから社内で議論していく。

全組合員一丸となり
22春闘勝利に向けて
職場から
たたかいをつくりだそう!